

[ファミリエ下野市民運動]

「ファミリエ」(Familie)は、下野市が交流しているドイツの言葉で家族を意味します。この名称は、市民教育運動が家庭を中心とし、市民が一体となって展開することをイメージした市独自の名称です。

[運動スローガン]

当たり前のことを当たり前にやろう!!

大人一人一人が子どもに積極的に関わり、家庭教育力の向上、地域の子どもは地域で育む市民意識の定着、子どもの成長を見守る社会の実現などに取り組むものです。

本年度の基本方針

認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくり

1 「心の教育」の充実

教育目標／心豊かな子

- 「あいさつ運動」の推進(3A運動)
- 「認め合い・励まし合い・助け合う」学級集団の形成(人間関係づくり)
- 生活目標と関連づけた学級指導の充実
- 主体性を育てる縦割り班活動の体系化と児童の活躍の場の拡充
- 地域の「人、もの、こと」を生かしたふれあい学習の充実
- 「心豊かな子」を育むための道徳教育の充実(小中一貫教育の推進)



縦割り班活動による全校遠足



花育「花束作り」



地域の方とのアグリ活動「田植え」



地域の方に学ぶ「ふくべ細工」

2 「確かな学力」の定着

教育目標／進んで学ぶ子

- 「学び合い」のよさを実感できる学習活動の工夫
- 「ねらい」「振り返り」の一体化を図った授業の展開
- 各教科における基礎基本の定着と書く活動の充実
- 一人一人の学習状況に応じた細やかな指導
- ICT機器(タブレット端末等)の有効的な活用(GIGAスクールの推進)
- 各教科の特性に応じた言語活動の充実



学び合いのよさを実感できる学習活動



細やかに対応するTTの授業



ICT機器を活用した授業



働く人に学ぶ

4 「信頼される学校づくり」の推進

- 指導力向上を目指した研修会の実施
- 互いのよさを認め合い、助け合う教職員集団
- 問題の未然防止(児童と向き合う時間の確保)
- 地域とともにある学校づくり(保護者・家庭・地域社会・関係機関との連携)
- 学校評価の実施と保護者・地域の意見の反映
- 小中一貫教育・学校運営協議会の推進



外部指導者を招聘しての
校内研修会



親子で学ぶ家庭教育学級



地域の力を生かした
体験活動



PTAや地域の方と協力して
実施する廃品回収



学校支援ボランティア
活動報告会



小中交流クリーン活動

令和7年度 学校課題研究

1. 研究主題 主体的に学び、高め合う児童の育成

～自己肯定感を高め、豊かな表現力の創造をめざして～

2. 研究内容 「わかる楽しさ」「できる喜び」を実感できる授業の工夫

- (1)学習意欲を高め、主体的に学びに向うことができる授業の工夫
 - ①自ら目的意識や課題意識(疑問・問い合わせ)をもつことのできる導入・「めあて」の提示の工夫
 - ②「振り返り」活動の確実な実施と内容の充実
- (2)学業指導の工夫
 - ①安心して学び合える集団づくり
 - ②個のよさを生かす学習形態や学習活動
- (3)達成感や喜びのある授業の工夫
 - ①達成感や成就感を得られる教材やICT機器の活用
 - ②学年相応の家庭学習の充実

■ 石北小の「当たり前」の推進

石北小標語

- い いつも明るく
- し しっかりと
- き 気持ちのこもった あいさつで
- た たのしい学校 石北小

3A運動

- あいさつができる子
(基本的生活習慣)
- あいての気持ちを考えられる子
(思いやり)
- あきらめずにがんばる子
(勉強・運動・行事など)

教育目標／健康でたくましい子

- 楽しく活動量のある体育の授業の展開
- 縦割り班活動や業間・ロング休みを活用した体力づくり
- 早寝・早起き、規則正しい生活リズムの形成
- うがい、手洗い等の衛生習慣の徹底
- 給食・食育指導を生かした望ましい食習慣の形成
- 安全教室・避難訓練の工夫充実



栄養教諭による食育の授業



体力づくり「スポーツタイム」



親子防犯教室



全校で取り組む「花壇作り」